地区スローガン：「ロータリーから千葉を元気に」
会長方針：「温かいクラブ・活気のあるクラブ・調和のとれたクラブ」

国際ロータリー第2790地区 第３グループ
千葉西ロータリークラブ
Rotary Club of Chiba-West
WEEKLY COMMUNICATION

創　立　1976年1月20日　　承　認　1976年2月25日
会　長　野口アキ子　　幹　事　飯高喜代志
例会場　千葉スカイウインドウズ 東天紅　センシティタワー23階
TEL 043-238-5555
例会日　毎週火曜日 12:30～
事務局　千葉市中央区新田町12-1　トーシン千葉ビル7階
TEL 043-245-3202　FAX 043-245-7522
E-mail：chibawestrc@wrpc.co.jp
URL：http://www.chibawest-rc.net/

■ 会長挨拶 / 野口アキ子 会長

皆様　こんばんは　今日はクラブ広報・IT・情報雑誌委員会の移動例会の炉辺会談です。いつもの例会場所と違い雰囲気も異なり「炉」を囲んでロータリアン同士のコミュニケーションを図るには不可欠の場であって、先輩ロータリアン、中核ロータリアン、新人ロータリアンの皆様とおおいに意見交換して頂きたいと思います。ところで広報委員会活動の内容を私の知る範囲で紐解きすると内部広報として家族に情報発信し活用、外部広報として、非ロータリアンや地域社会に、ロータリーを理解していただく機関とがあります。地域社会はロータリーをどう見ているか？　あまり理解されず、金持ちの昼食会というのが一般的な批評のようです。そのことを踏まえクラブの活動状態を少しでも地域の共感をいるには新聞、放送等のマスコミの力をかりる　それには記者との交流が大切であり、懇談会を持ったり例会に招待したりすることも必要ではないでしょうか　自治体が発行する公報も有力なメデイアになりますが、いずれも公共性、地域性がないと取り上げてくれません　地域性があっても当日の順位によりはずされてしまうこともあります。これからの課題にも繋がって参ります。それから、今日の例会挨拶に入れておきたい東日本を縦断した台風１９号で多くの皆様方が被災されました心よりお見舞い申し上げます。今回の台風の特徴は上陸前まで大型で非常に強い勢力を保っていた事、太平洋南側は水温が約２７度と平年より１・２度高く、水蒸気を供給し続けたようです。地球温暖化を背景に、台風は大型化する傾向があり水害への備えを強化することも重要であると言われています。そして、今回は過去最多となる大雨特別警報を１３都県に発表され多いところでは、年間雨量の３分に１に相当する雨が降ったようです。千曲川では長野市穂保地区で堤防が決壊したほか、１０ヶ所以上で川の水が堤防を超え、周囲が浸水したようです。気象庁は今回、早い段階から警戒を呼びかけ、これを受け、JR や私鉄各社、航空会社は計画運休や欠航を発表し、スーパー、デパート等も休業を決めたり安全を優先する危機対応が根付きつつあったとも述べています。それに並行して多くの人が事前に食料品や防災品を買い求め、不要不急の外出を避けることにもつながったのではないかと言われています。普段から気象災害への対応を改めて点検して考えたいと思います。

■ 四つのテスト / 横田一樹 会員

「言行はこれに照らしてから」
　真実かどうか
　みんなに公平か
　好意と友情を深めるか
　みんなの為になるかどうか

■ お客様

ラミイラ・メイメイトジャン さん
（米山奨学生）

■ 米山奨学金の授与

ラミイラ・メイメイトジャン さん

■ 幹事報告

ガバナー公式訪問について
10 月 29 日（火）はガバナー公式訪問です。例会終了後に開催されるクラブ協議会の出席者は、各委員長だけではありません。全会員の出席が要請されております。一般会員のご参加を、宜しくお願いします。

■ 委員会報告

なし

■ 炉辺会談のテーマ「千葉西 RC がより活性化するには」
クラブ研修リーダー 海寶勘一

当地区の諸岡靖彦ガバナーは、今年度地区ターゲットを「ロータリーから千葉を元気にしよう」とスローガンを掲げました。我がクラブの野口アキ子会長は、「温かいクラブ～活気あるクラブ～調和のとれたクラブ」とした活動指針を示されました。私たちメンバーはクラブをより活性化するためには、皆さんがどのように具体的に活動することをお考えになっているのでしょうか。国際ロータリーの「My ROTARY」を覗きますと、次のように書かれています。「ロータリー活性化の取り組みは、心に訴えるような方法で、しかも分かりやすくロータリーのストーリーを人びとに伝えることを目的としています。ロータリーとは何か、ほかの非営利団体とどう違うのかを、一貫したイメージで明確に打ち出すことにより、現会員、入会候補者、支援者、ボランティアの参加意欲が高まり、ロータリーが世界中の地域社会で行っている活動がさらに活発になるでしょう。」と説明しています。これを一言で言えば会員全員がロータリーの特徴を良く理解して行動に移すことが大切なことだと読み解きます。
それであればこそ私たちは、ロータリーの特徴を弁える必要があると思います。
ロータリーは多様性をもって仲間と親睦を深めお互いに助け合い、寛容のこころで仲間を認め合い尊敬しあい、高潔性をもって切磋琢磨しあって自己研鑽を習性とさせ自己成長を目指すことこそが

ロータリーの特徴になっています。その目指す心がけは「奉仕の理念」の源泉になっているロータリーの公式標語「超我の奉仕」と「最もよく奉仕をするもの最も多く報いられる」であるし、この二つは座右の銘にしたいものです。そのためにも毎例会を通して、改めて国際ロータリーのテーマやガバナーモットー、野口アキ子会長の活動指針を確りと自分自身で租借することが大切だと思いますし実践に移せる努力が尊重されます。あわせてロータリーを良く知り一層好きになることが大切な心がけになります。先ずはクラブメンバーとのコミュニケーションを密にして、信頼し合える仲間との忌憚のない交流が積極的にできるようにしたいものです。クラブの活動である例会はもとより、できるだけ多くのクラブと地区事業の奉仕活動に参加してクラブ運営にも携わる価値を高めたいものです。ロータリーを良く知り好きになることと併せてクラブ運営に参画する一人一人の熱意が、クラブを一層元気にさせる根源になります。それら活動の波及効果として、会員の事業所や家庭や地域社会にもその善意の効果が反映させることができるのが真のロータリー運動だと信じます。だからこそ、貴重なクラブメンバーとの交流を一層深め合うことが大事になり、全てのクラブメンバーから他クラブのメンバーへ、そして友好・姉妹クラブのメンバーにも真の仲間たちとして広がり、より親密な交流が深まることが求められていることは、とっても意義あることを知るべきでしょう。
さて、白井貴博クラブ広報ＩＴロータリー情報委員長が主催する、今夜の炉辺会談テーマは「千葉西 RC がより活性化するには」との提言を頂きました。その答えを一言で言うことは難しく、メンバー一人一人の答えは様々だと思いますし、クラブ運営に参加する姿や奉仕活動のスタイルは多様です。メンバーには十人十色、百人百様の生き方考え方がありロータリーの理解は多様性が尊重されていることを理解しましょう。然しロータリアンあればこそ、ロータリーの基本精神である「奉仕の理念」を良く理解し「ロータリーの目的」を素直に受け留めて、謙虚な心で実践に移す責任があります。ロータリアン一人一人がもっている尊い価値の違いを認めあい、クラブメンバーが互いに尊重し合える、真の親睦が深まればこそ、炉辺会談テーマの「千葉西ＲＣがより活性化するには」の答えがハッキリと見つけ出せると思います。随分昔のコーフィーのテレビコマーシャルにあった、「違いの分かる男」ではありませんが、会員一人一人がもつ個性の違いを尊重し尊敬し謙虚に学び合いましょう。知って覚え実践行動に移し反省する「知覚動考」を身に着けて尊敬できる人徳を高め、それぞれの豊かな人間性の違いも認めて受け入れたいものです。世の為人の為に思いを寄せて、人助けのために尽くせるロータリアンの価値を尊重しあって、メンバー一人一人が責任感を強く成長していきましょう。善良な仲間が集う我が千葉西ロータリークラブだからこそ、胸襟を開いて語り合えるクラブ運営を宝物にしていきたいものです。今後も新会員を温かく迎え入れ、各会長年度をより一層活性させ意識を高めていきましょう。課題としては、明白なクラブビジョンを策定し明記したいものです。来るべきクラブ創立 50 周年記念事業を迎えて、関係するすべての皆様とご一緒になって、活き活きと記念事業の準備を進めていきたいものです。

■ 炉辺会談　各テーブルの発表

A. 遠藤あけみ 会員

・委員会の活性化と、夜の宴会の活性化を！
酒好きが固まっており、野球同好会、ゴルフ同好会、麻雀愛好会へ入りづらい。様々なメンバーへの声掛けが必要ではないか。ゴルフ会表彰式飲み会は、全メンバーに声を掛けて欲しい。同好会だけではなく委員会活動が大事ではないか。また、例会後のふれあいタイムへの参加を！

B. 長坂圭将 会員

・不易流行～守るべきことを守り、変えることを変える。
まずは例会に出席すること。古い会員が新人に声を掛けること。奥様例会を開催して欲しい。大切なのは不易流行、しっかりと事業を続けること。

C. 本橋和也 会員

・例会に出席したくなるクラブを作ろう
私は茂原 RC からの移籍です。こちらで私は千葉西を選んで入会しました。出席率はクラブの活性化を計るものであります。例会に出席したくなるクラブを！

D. 横田一樹 会員

・時代はダイバーシティ。ロータリーも多様性を受け入れる体制を。
ボランティア活動を増やす。例会を隔週にする。例会を休んでも優しいロータリーでいて欲しい。無理は言わないが、NOはいわない習慣をつけたい。委員長を支える体制作りが大切。

E. 桜井隆宏 会員

・受身ではなく、発信する側になる
平等に接し、言いたい事を言う。他クラブを見に行く。得るよりも、与えることを大切に。「ロータリーにNOはない」「頼まれ事は試され事」

F. 高橋健一郎 会員

1．異業種の会員との交流　業界の裏事情が聞ける　クラブ事業以外で交流（同好会・趣味）　自分の知らない事（場所・食べ物）を知る事
2．奉仕活動をして良かったと感じる事（また奉仕活動したい）　奉仕活動対象者の感謝喜ぶ姿（心の満足を得られる）　寄付活動に対し感謝の言葉（何の寄付か、どう使われているかを知る）
3．マンネリ化を防ぐために　新入会員には事業に積極的に参加してほしい　奉仕活動に参加して良かったと感じる事　移動例会・夜例会の回数検討
4．新しい奉仕活動の発掘　現状：納涼（８月）・忘年（12 月）・親睦旅行（５月）　花壇（５月）・花壇（11 月）・初例会（１月落語）　高雄（３月）・子弟受入（８月）・IA 年次大会（８月）　3クラブ合同（４月）・地区大会（２月）・IM（２月）
5．新入会員には早く委員長を経験してもらう（３年委員）　委員（１年目）⇒副委員長（２年目）⇒委員長（３年目）

本日の出席

総　数	対象者	出　席	欠　席	出席率
53 名	43 名	36 名	7 名	83.72 %

前々回修正

メーキャップ	欠　席	出席率
1 名	8 名	84.44 %

ニコニコBOX

合　計	累　計
0 円	563,000 円

次週のプログラム

10月22日（火）祝日により休会
（即位礼正殿の儀）
10月29日（火）
ガバナー公式訪問
（ガバナー 諸岡靖彦 氏）
クラブフォーラム
12:30点鐘 千葉スカイウインドウズ 東天紅

クラブ広報・IT・ロータリー情報雑誌委員会　【委員長】白井貴博【副委員長】平良真人　三宅隆文【委員】*野城隆憲　*前野拓郎　*菊池民雄　*前田善弘